

Q1.

キャリア教育ってなんですか？

A1.

キャリア教育とは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、*キャリア発達を促す教育」のことです。
※社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程のこと。

Q2.

進路指導とキャリア教育の違いは何ですか？

A2.

進路指導とキャリア教育の目指すものは、ほぼ同一であります。しかし、これまでの進路指導はいわゆる「出口指導」にとどまる傾向が見受けられました。キャリア教育は進学指導や就職指導のみを目的とするのではなく、子どもたちが社会を生き抜いていくために必要な資質や能力を、全教育活動を通じて身に付けさせようとするものです。

Q3.

小学校でキャリア教育は必要なのですか？

A3.

小学校では、具体的な将来設計を立てさせることを目的としているのではありませんが、小学校段階は社会人として必要な自立性や社会性を育て、一人一人の子どもたちがそれぞれの進路を検索・選択する力を培う上で重要な基盤を形成する大切な時期です。他者とのかかわりや身の回りの仕事や学習への意欲の向上、夢や希望など自己イメージを獲得することが求められています。全ての子どもに自立して社会で生きていくための基礎を育てるためには、小学生の心身の発達に応じたキャリア教育が必要です。

Q4.

キャリア教育は、職場体験や職場見学をさせればよいのですか？

A4.

いいえ、そうではありません。体験活動はキャリア教育を推進する取組の一つとして位置付けられています。キャリア教育は、職場体験学習などの体験活動だけでなく、各教科をはじめ、あらゆる教育活動を通して、社会的・職業的自立に必要な意欲・態度や能力を育てていくことが大切です。体験活動には、達成感や満足感を得ることによる自信や自己有用感の獲得、働くことや学ぶことへの意欲の向上など、様々な効果が期待できます。その効果を発揮させるためには、体験活動のねらいを明確にして、他の教育活動と関連付けたり事前事後の指導を工夫したりすることが重要です。

Q5.

キャリア教育を実践することでどのような効果が期待できますか？

A5.

子どもたちにとっては、「学ぶこと」と「働くこと」の密接な関連性に気付くことなどによって、学習意欲を向上させることができます。また体験的な学びを通して、自己理解の深化、自己肯定感の向上、望ましい勤労観や職業観の育成など、様々な効果が期待できます。学校にとっては、キャリア教育の視点に立って教育の在り方を幅広く見直すことにより、教職員に学校の教育理念と進むべき方向が共有されるとともに教育課程の改善が促進されます。

Q6.

よく「キャリア教育の視点で」と言いますが、この視点とはどういう視点ですか？

A6.

「キャリア教育の視点」とは、将来の社会的自立・職業的自立を念頭に置きながら、子どもたちの成長や発達を促進する見方をもつことです。各小・中学校が、「キャリア教育の視点」に立って様々な教育活動を通して、どのような資質や能力、態度を育てていけばよいのかを検討し、キャリア教育としてのねらいを意図的・計画的に設定していくことが大切です。

Q7.

教科等を通して、キャリア教育を実践するには、どうしたらよいのですか？

A7.

キャリア教育は、特定の教育活動を指すものではなく、教育活動全体を通して体系的に行われるものです。各教科や道徳、総合的な学習の時間及び特別活動等には、子どもたちのキャリア発達を促す教育内容が数多くあります。それらを計画的に活用していきましょう。また、それぞれの教育活動の中にあるキャリア教育の「断片」を洗い出し、つなげ、子どもたちの認識や視野を広げていく働きかけを、教科等の特質を生かしておこなっていくことが大切です。

Q8.

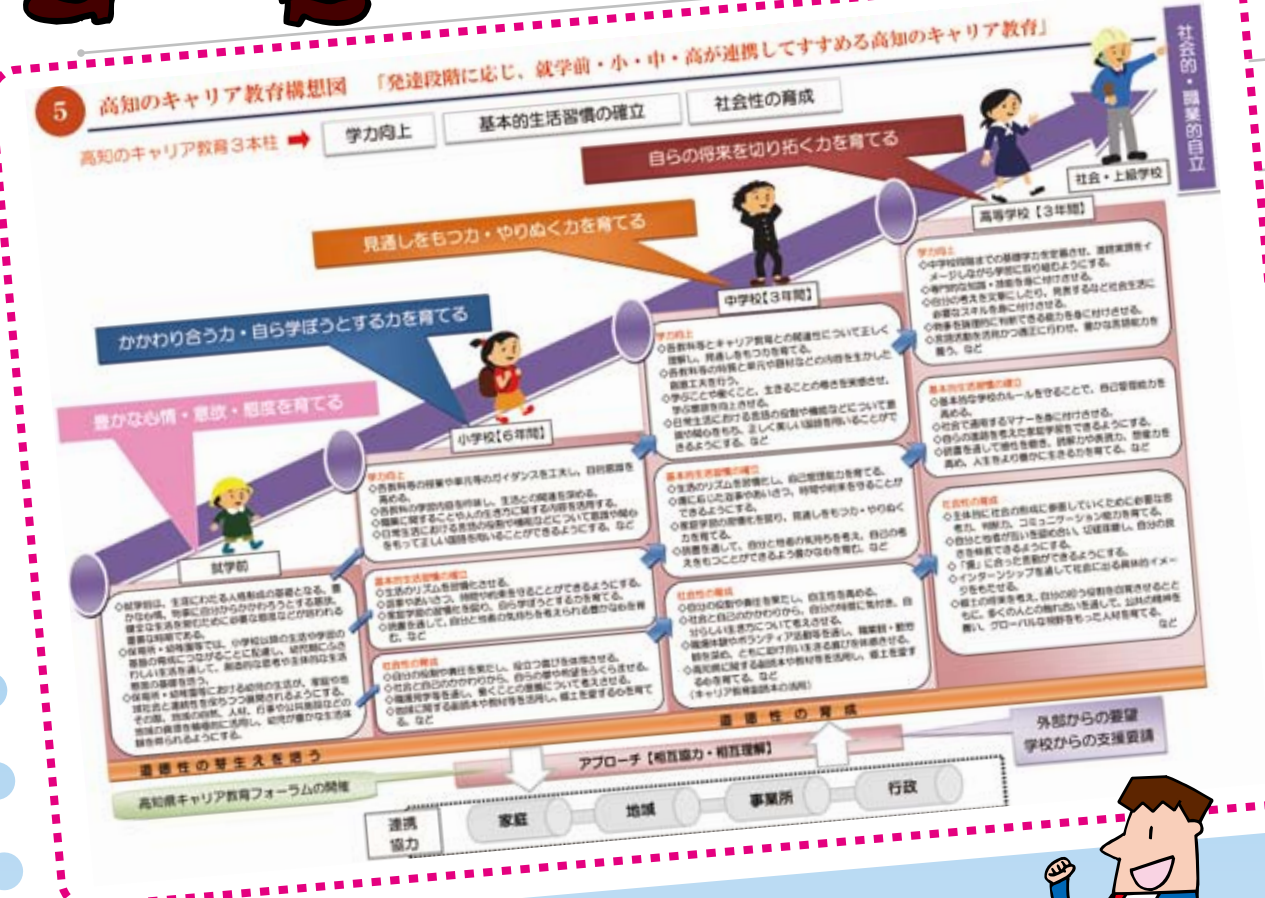
キャリア教育の評価は、どうすればよいのですか？

A8.

育てたい資質や能力、態度を意識しながら「子どもの変容・成長」を評価すること、そして、それに基づいて「活動そのもの」を評価することの二つが考えられます。前者については、ポートフォリオやアンケート、評価カードなどを工夫しながら一人一人のよさや変容を把握し、子どもに返していきたいものです。後者については、子どもの変容や成長、要因となったことを焦点化し、実践を振り返り、PDCAサイクルのもと、キャリア教育の取組を改善することが重要です。

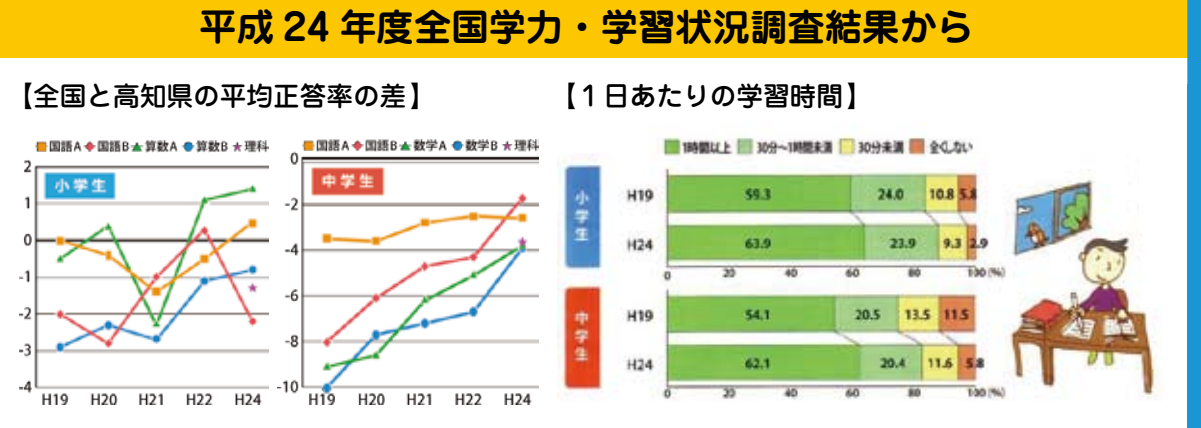
進めよう！ 高知のキャリア教育

★高知県では、「学力向上」「基本的生活習慣の確立」「社会性の育成」を取組の柱として、高知の子どもたちの「夢」や「志」の基となる力を育てます。★このリーフレットを校内研修等で活用しながら全体計画や年間指導計画の見直しを行うなど、社会的・職業的自立に必要な力を育てる各校のキャリア教育を進めてください。



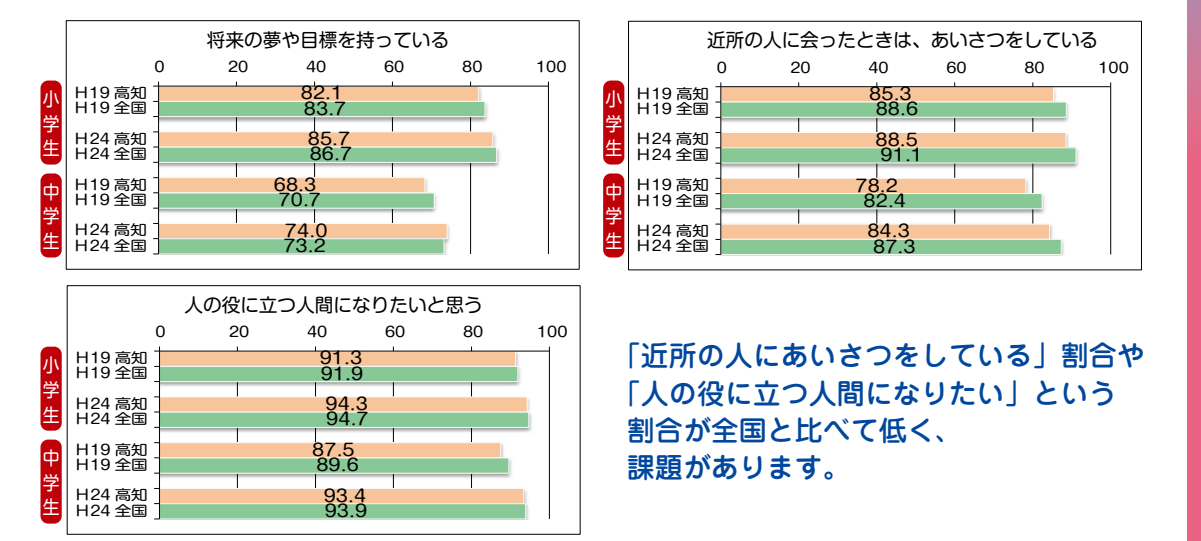
平成 25 年 8 月 高知県教育委員会

高知県の子どもたちの現状から

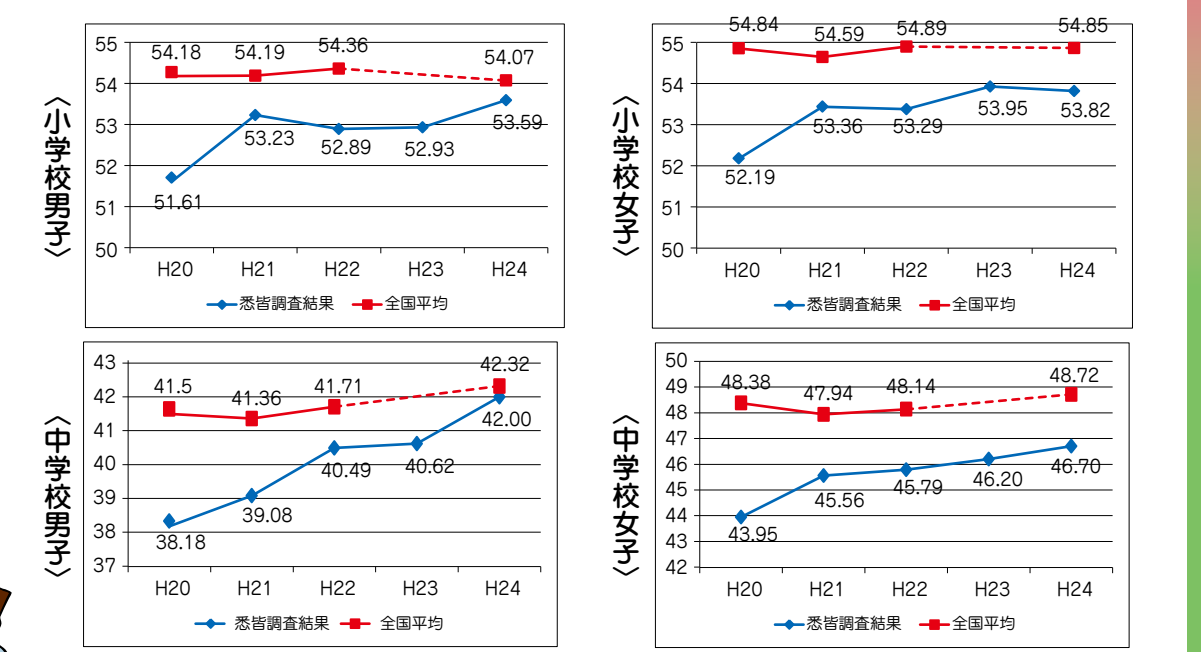


小学生はこれまでと同様に全国水準を維持しており、中学生は全国平均には達していないものの全国との差は着実に縮まっています。また、家庭学習を「全くしない」と回答した児童生徒の割合も、平成 19 年度から半分近く減少し、各学校の学力向上の取組が着実に進んでいることがうかがわれます。

全国学力・学習状況調査結果から (H19 と H24 の比較)



体力運動能力、運動習慣等調査(体力合計点)結果から (H20 から H24)

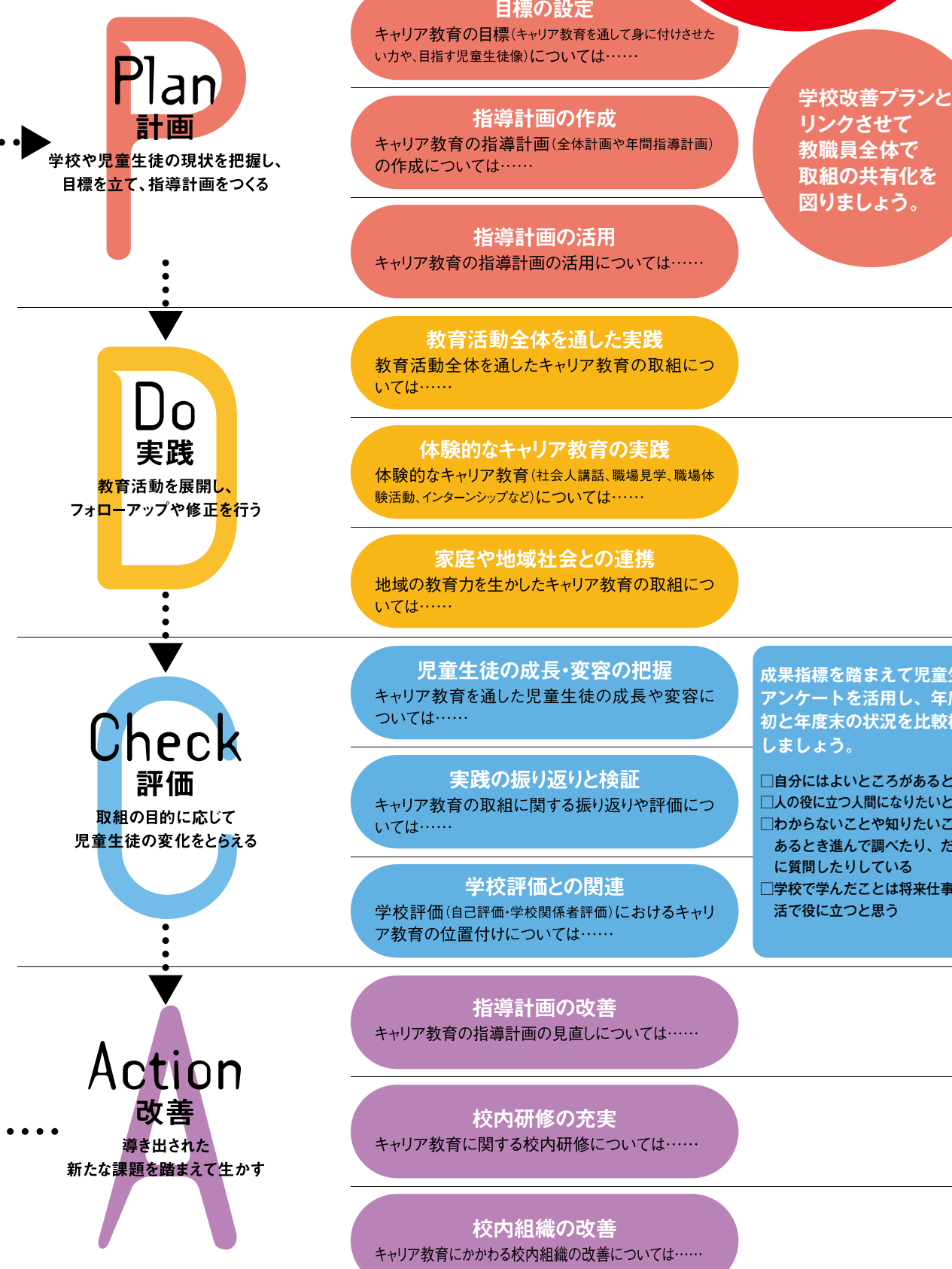


平成 24 年度は、小学校女子を除いて、前年度の記録を上回っています。また、男子を中心に全国平均との差が縮まっており、大幅な伸びを示しています。

PDCAでみるキャリア教育推進状況チェックシート

学校の現状から、次の課題を見出しいきましょう。

以下の項目を参考に、PDCAサイクルを意識し、各校でのキャリア教育を推進しましょう！



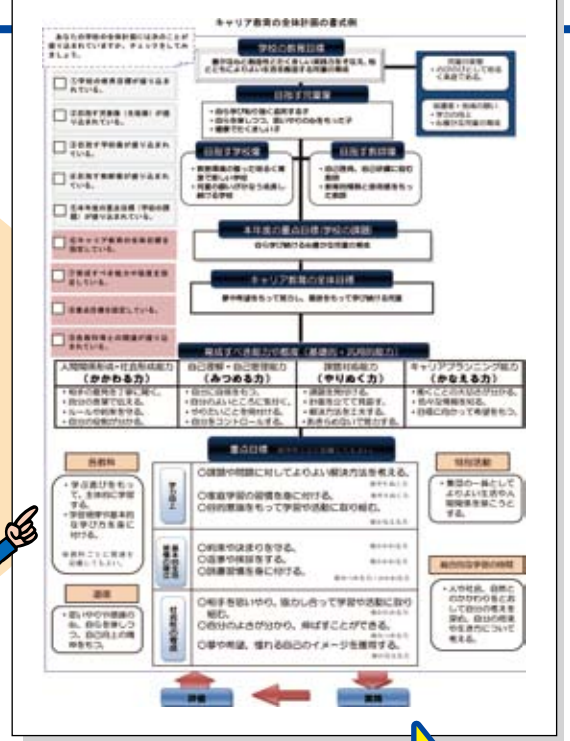
出典：「キャリア教育を創る—学校の特色を生かして実践するキャリア教育—」
文部科学省 国立教育政策研究所生徒指導研究センター（平成23年11月）

キャリア教育の全体計画・年間指導計画を充実させよう!!

まずは Plan 計画 から

その前に…
キャリア教育の全体計画はできていますか？

キャリア教育の全体計画の書式例でチェックしてみよう！



その1 洗い出す
子どもたちに付けたい力（「基礎的・汎用的能力」）を育むために以下の視点で、洗い出してみましょう。

- (県の取組の3本柱)
 - 学力向上
 - 教科等の内容について
 - 指導方法について
 - 基本的な生活習慣の確立
 - 日常生活や学習の習慣ルール等について
 - 社会性の育成
 - 講話・社会見学など体験的な活動について

- キャリア教育の「断片」
 - 社会：食糧生産を支える人々
 - 道徳：生きることのすばらしさ(3-(1))
 - 特別活動：秋の収穫祭
 - 係・当番活動
 - 職場見学や職場体験 など

その2 つなぐ
◆洗い出された「キャリア教育の断片」をつないで、体系的・系統的な計画を立てよう。
◆全体計画や子どもの実態を念頭に、「我が校の」「今年度の」「この学年の」子どもに身に付けさせたい力の焦点化を図ろう。

〇〇中学校 3年 本年度のキャリア教育年間指導計画（防災教育を生かした例）

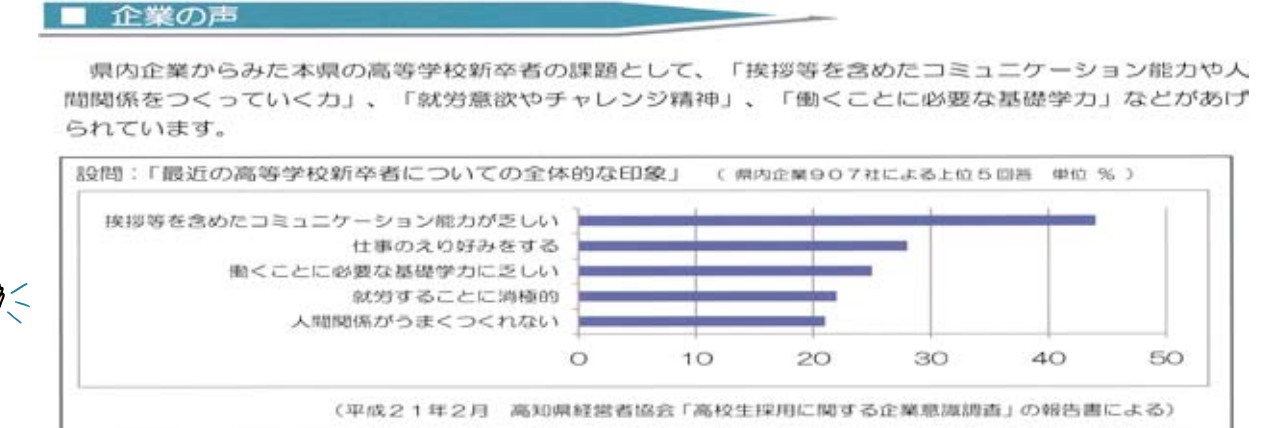
月	教科	道徳	総合的な学習の時間	特別活動
6月	人の役に立つ仕事について調べて報告しよう(国語・A 話すこと・聞くこと)	自然愛護・畏敬の念(自然とともに生きる)3-(2)	I～自分探しの旅～各事業所等への打診や依頼、準備を行い、職場体験学習に参加し、将来の進むべき道を探る	
9月		強い意志(希望と勇氣、実行)1-(2)	Ⅱ～自分探しの旅～社会における様々な課題や社会で生きる人々の思いや考えに対する理解を深め自己の生き方について考えを深める	地域一斉避難訓練・避難所運営訓練(学校行事：健康安全・体育的行事)
1月	自然の恵みと災害について調べ、自然と人間の関わり方について考察する(理科)			主体的な将来設計(学級活動：(3)-オ)
2月				社会の一員として～自覚と責任～(学級活動：(2)-ウ)

防災教育を生かした取組

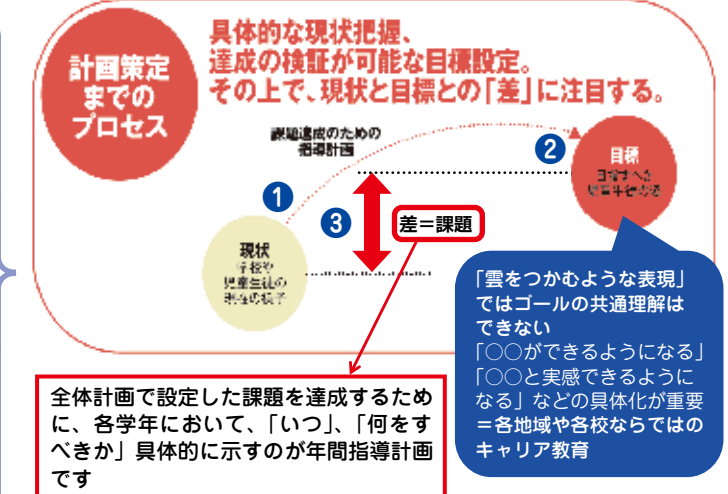
その3 検討する
☑チェックしてみましょう！

- ☐学校全体の教育活動全体を通じたつながりをもった計画となっていますか？
- ☐既存の教育活動を生かしたのものになっていますか？
- ☐学年間の系統性が確保され、基礎的・汎用的能力が十分育まれるものになっていますか？
- ☐キャリア教育全体計画や子どもの実態に対応したものとなっていますか？
- ☐進学指導や就職指導など、いわゆる出口指導に偏ったものにはなっていませんか？
- ☐実践を評価するための手立てや改善の方策は考えられていますか？

- ☑チェックしてみましょう！
- ☐体験学習の目的やねらいがはっきりしていますか？
 - ☐各事業所の方との共通理解は図られていますか？
 - ☐子ども自身の深まりのある気付きは、ありますか？
 - ☐体験学習での学びが、学校生活や学習につながっていますか？
 - ☐体験学習を評価するための手立てや改善の方策は考えられていますか？
- よりよい体験活動にしましょう！



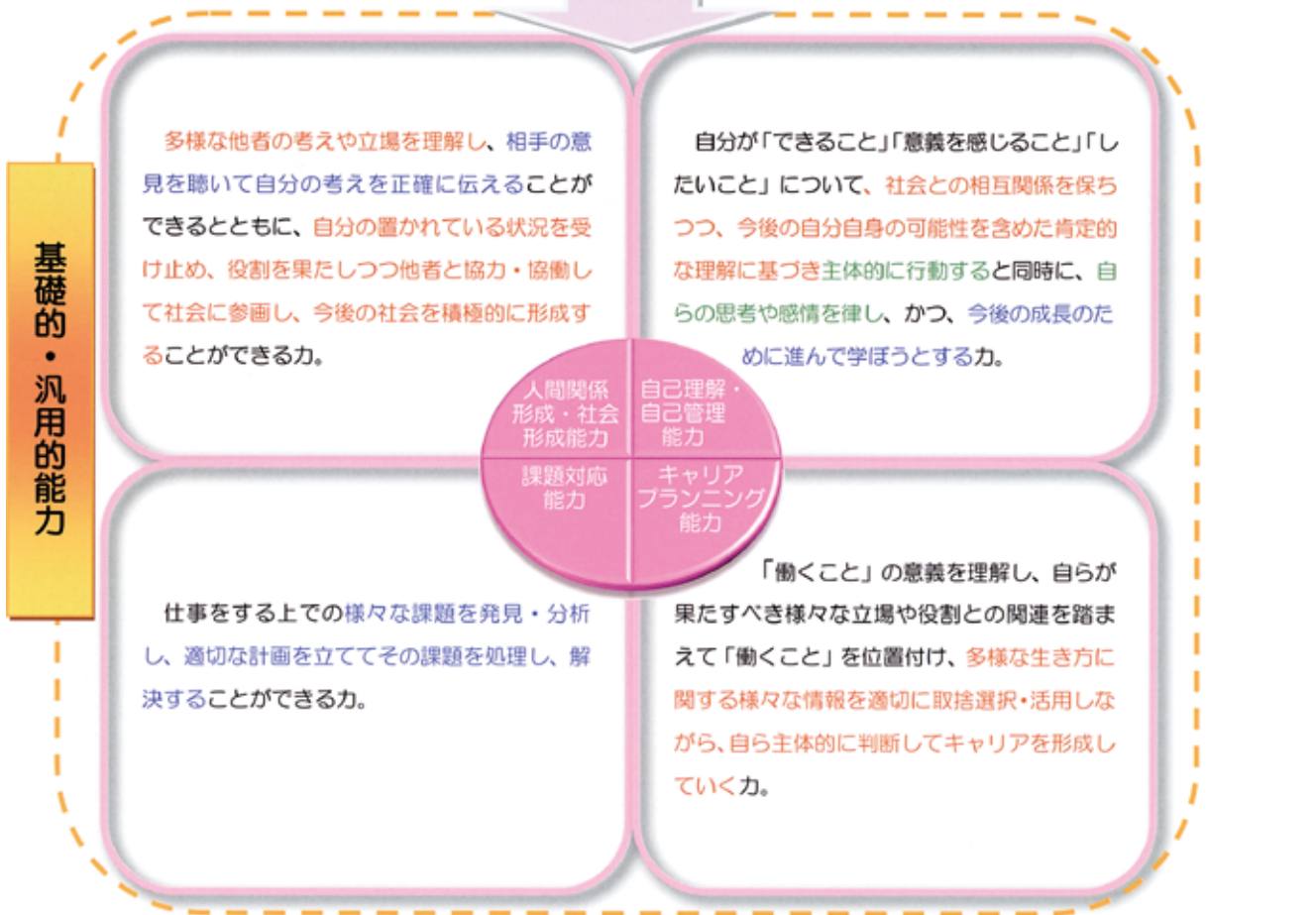
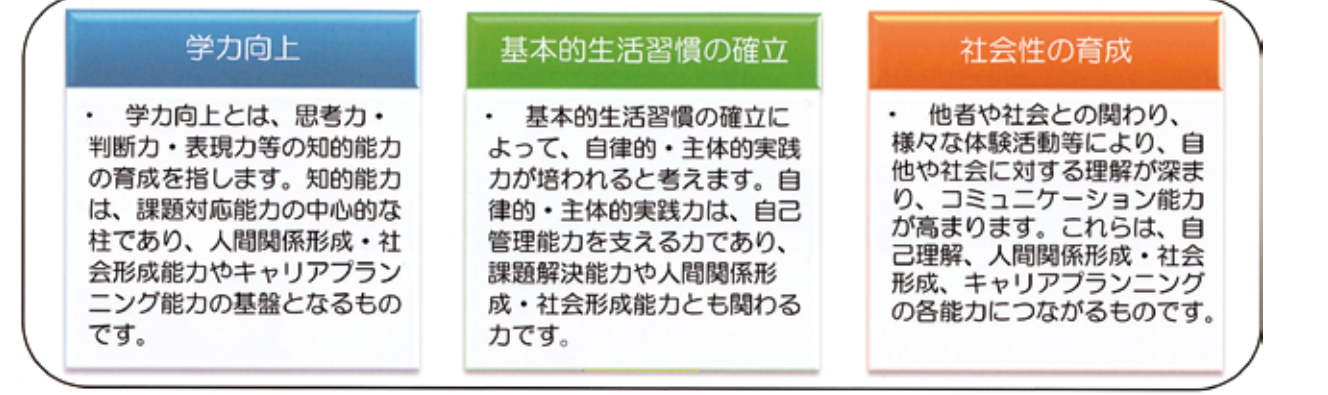
充実した職場体験学習(職場見学)になっていきますか？



高知のキャリア教育3本柱と基礎的・汎用的能力の関係

キャリア教育を行うことで、国は社会的・職業的自立に必要な力の要素のうち、「基礎的・汎用的能力」が育成されると示しています。高知県では「学力向上」「基本的な生活習慣の確立」「社会性の育成」の3つを柱とした取り組みを行うことによって、この「基礎的・汎用的能力」を育成していこうと考えています。

改めて新しいことを始めるということではなく、今までの教育活動を新たな視点で捉え直し、高知県のキャリア教育3本柱の内容を計画的に実践し、今までの取り組みの質を高め、次のステージにしっかりとつなげていきましょう。



上は、色分けによって「基礎的・汎用的能力」と「高知のキャリア教育3本柱」との関係を表したものです。それぞれの色は、「高知のキャリア教育3本柱」の「学力向上」「基本的な生活習慣の確立」「社会性の育成」と関わりが深いことを示しています。

出典：「高知のキャリア教育」高知県教育委員会（平成25年3月）より